

## はじめに

この物語は、森に暮らす天涯孤独の野良犬が、龍神修行中の龍の子どもに導かれて、不思議な世界へといざなわれていくところから始まります。

還暦近くになった野良犬は、この先もいまままで通りの生活が続くものと思い、もう今更、何も変えることはできないと思っています。

でも心の中に「それでいいの？」と囁く声を聞くようになります。

その声を無視せずに聞いていたら、導きの子龍が現れました。そして、その導きに従っていくと、いままで知らなかった不思議な世界の扉が開かれました。

目にみえる世界だけが真実だと信じていたけれど、この世界はもっと広く深く、不思議に満ちた世界でした。

不幸な境遇によりグレてしまい、心を閉ざしていた野良犬は、自分の境遇の意味をすべて知ることになります。そして、不運も不幸も外の世界に原因があるのではないことを悟ります。

それを知ったとき、これまでの生き方からのシフトチェンジが起こります。

これは、森の野良犬の物語ですが、私たち人間にも通じるものがあります。

どうぞ、主人公の野良犬といっしょに、森の中に入り、「びわの寺」に通ってみてください。あなたにも、この野良犬に起こったような変容が起こり始めるかもしれません。

この物語はフィクションですが、同時にたくさんの方の真実の経験から生み出されました。

話のなかには、日本古来のアニミズムや修験道、古神道的な考え方、ブツダの教え、東洋の自然哲学、ネイティブの人たちの思想が流れています。

それらが混在しているため、異なった思想間には矛盾があり、学問的な観点からみれば、細

かな間違いの指摘があるかもしれません。でも、これらの思想は物語として、みえない世界へ案内するためのものです。寛容にお読みいただけたら幸いです。

読み終わったあとのあなたに会うのを楽しみにしています。